

相手9、自分1で、半々だ。

手に入れた成功報酬ほうしゅうをヤマ分けにする時には、あなた1人で儲けもっけを独占しないようにします。

2人でヤマ分けするなら、常識的には半々です。

実際、ほとんどの人が半々になっているつもりでいます。

でも、相手が50%、自分が50%取っているつもりの方は、正確には半々になっていません。

相手に9割あげて、あなたが1割受け取るぐらいでちょうど半々になるのです。

あなたにとっては、自分から出ているコストはよく見えます。

ところが、相手から出ているコストは、見えにくいのです。

第1章 捨てることができる人は、お金持ちになれる。

半々のつもりの際は、あなたのぶんのコストを上乗せして取っています。

相手の50%には、見えない形で払っているコストが上乗せされていないのです。

これでは、実際にはあなたがたくさん取って、相手は少ししか取れないことになり
ます。

取りぶんに含まれるのは、これまで過去に払ったコストだけではありません。

将来的に相手とパートナーシップを結んでいくのなら、あなたは全体の利益の1割
以上は取ってはいけません。

こうすれば、パートナーとの結びつきが強まります。

パートナーは、使ってもなくなるらない財産です。

1回の利益は、5割取るうが、9割取るうが、使ったらなくなる財産です。

仕事で貯めていく「利益」は、「目に見える財産」です。

それは、使ったらなくなる財産です。

使ったらなくなる財産を貯めるだけなら、仕事をする意味はありません。

1つの仕事をしながら、使ってもなくなるらない財産を残していくのです。

それが、ノウハウであり、ノウフーです。

あなたが5割も取ってしまったら、次からはその人とパートナーシップを結べなくなりま

せん。仮にあなたが7割取って、相手が3割取っている時は、それほど問題は発生し

ません。この場合は、あなたのほうがたくさん取っているという意識が持てるはずで

でも、半々の時は、自分のほうがたくさん取っているという意識がなくなります。

この状態が、一番危険です。公平に見える半々という分け方が、実は不公平を生みやすいのです。

「相手に半分やっているじゃないか」という間違ったバランス感覚になってしまうの

です。バランスが崩くずれているのに、バランスがとれているという錯覚さうかくを起こします。

半々というのは、安全そうで、実はリスクを伴う利益分配方法なのです。

相手に9割与えて、あなたが手数料のつもりで1割もらう形にするのがちょうどいいのです。

それが、使ってもなくならない財産を間違いなく手に入れる方法なのです。

第1章 捨てることができる人は、お金持ちになれる。

お金と上手に
つきあうために

その②

相手に、9割とええよ。じ。

=====
買った金額に惑わされず
捨てることのできる人が、
お金持ちになる。

お金持ちになれる人がどうかは、クローゼットの中を見るとわかります。

クローゼットの中を見た時に、服がパンパンに詰まっている人は、お金持ちになれません。

クローゼットがいっぱいになる理由は3つあります。

ついたくさんものを買ってしまっ

必要でないものを買ってしまっ

必要でないことがわかっても捨てられない

お金持ちになりたいと思ったら、まずクローゼットの中で、必要でない服を捨てることです。

第1章 捨てることができる人は、お金持ちになれる。

本当に必要なものと必要でないものを分けるのです。

必要でない服は、3種類に分かれます。

1 回も着ていない

1 回しか着ていない

何年も着ていない

どの服も、「まだ元を取っていない」と思っているから捨てられません。

値段の高い服であればあるほど、着ている回数は少ないのです。

着ている回数が少ないのに元手がかかっていると思うと、ますます捨てられなくなります。

これでムダな服が増えていくのです。

クローゼットの中では、意外に安い服の使用頻度が高く、循環しています。

安い服は、気軽に捨てられるので、最も生かされているのです。

高い服ほど、着る機会は少ないです。

着ないまま、捨てられないで残ってしまつのです。

服を捨てることで、クローゼットにスキ間ができます。

クローゼットに余裕が生まれると、本当に使える洋服が増えてきます。クローゼットがいっぱいになっていくと、一番手前にある服しか使わなくなり、財産であるスペースを有効活用しない状態になるのです。

お金と上手につきあうために

その③

高かったものでも、
使わないものは、捨てよう。

お金持ちほど、収納スペースが小さい。

お金持ちになれる人は、本当に使うものだけを買います。

その時はケチりません。

いいものを買って、どんどん使えば、有効活用されます。

お金持ちになれない人は、安いものも、いいものも買ってしまつたのです。

でも、いいものは全然使わずに、安いものばかり使います。

トータル金額としては、買っている量が多くなるのです。

たくさんお金を使っているわりには、ふだんは貧乏くさい安物しか使っていないのです。

お金持ちになつたら、ものを捨てられるではありません。

捨てることができるから、有効活用するスペースが生まれて、お金持ちになれるのです。

空間に関しても、時間に関しても、同じことが言えるのです。

買った金額に惑わされずに捨てられるか、です。

「使える」と思って買っても、実際に使ってみると使えないものはたくさんあります。間違って買ったものは、授業料と考えることです。

使えないものは、どんなに高くても捨てましょう。

それに奪われるものは大きいのです。

安いものは、使っていなければ捨てやすいです。

でも、高いものは、使わなくても、なかなか捨てられません。

ここの切りかえをすることが必要なのです。

「お金がない」とグチをこぼす人は、たいてい「家の収納スペースが足りない」と言います。

わざわざ新しい服を買わなくても、使える洋服はクローゼットの中にたくさんあるのです。

それに気づくためにも、邪魔じやまな服、使わないでほかを目隠めかくしている洋服を捨てることです。

こうすると、面白いことがわかってきます。

実は、クローゼットの中で場所をとっているのは、洋服だけではありません。今まで足りないと思っていたハンガーが、やけに多いことに気づくはずですよ。

ハンガーには、3種類あります。

洋服を買った時についてくるもの

クリーニング屋さんからもらったもの

自分で買ったもの

同じハンガーがかかっている場合は、スペースを効率よく使えます。

ところが、違う種類のハンガーが交じったとたんに、形がうまく組み合わせられなくなりません。

スペースを圧迫するのです。

まず、クローゼットのハンガーの形を統一しましょう。

あなたを買ってきたハンガーだけ残して、洋服を買った時についてきたハンガーと